

一般質問通告書

(令和8年第1回定例会)

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の相手
6番 兒玉 鋼士 議員	<p>1. 町の農林業振興について</p> <p>① 美郷町は第1次産業が基幹産業であると考えているが、町の農林業に対する町長の想いを伺う。</p> <p>② 町の農林業を発展させるための具体的な対策を伺う。</p> <p>2. 町の担い手・労働力の確保について</p> <p>① 町の担い手確保の具体的な対策を伺う。</p> <p>② 町では、町内の事業者に人手不足のアンケート調査を行っていると聞いている。その結果について伺う。</p> <p>③ 現在の農業生産の繁忙期の人手不足への対応は作業員においては70歳以上が大半を占めており、高齢者が頑張って労働していただいて、維持されているのが現状です。今後5年10年後にはどうなるのか、今対策をしなければ農地の保全もできない。 儲かる農業には規模拡大も必要であるが、人手不足から出来ない。また、スマート農業を行うにも人材が必要です。このような課題に対する対策を伺う。</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>要</p> <p>要</p> <p>要</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
1番 小野 和久 議員	<p>1. 簡易水道・農業集落排水の本管から宅地内量水器までの配管新設工事費用の申請者全額負担への改正について</p> <p>令和8年4月1日より水道や農集排の本管から宅地内量水器までの配管新設工事費用を申請者全額負担と改正するとある。</p> <p>① その改正の背景として、簡易水道・農集排事業は独立採算制が原則である。また、受益者負担が基本との説明であるが、この根拠となっているものを伺う。</p> <p>② 水道の本管から量水器までの費用等も金額的に様々であり、農集排も同様に考えられる。この費用負担を申請者全額負担ではなく、例えば工事費の3割負担であるとか負担上限を設けて町と申請者との負担であるとするような事は考えられなかったのか。</p> <p>③ 簡易水道・農集排の工事費負担区分変更の区長会への説明が行われたのが令和7年12月22日であり、条例の施行が令和8年4月1日ということで、約3か月程の周知期間では短いようにも思われる。せめて、1年以上の周知期間を設けられないか。</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>要</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の相手
	<p>2. 町管轄の河川管理について</p> <p>① 町の管轄の河川の浚渫・稼働掘削のここ数年の実績を伺う。</p> <p>② 例えば、私の住んでいる小川川は、ここ数年1回も浚渫等がされたことがないため、河川に砂利が堆積して、道路路側帯の崩壊や陥没しており、また農業用水路の取水口には砂利が堆積し、人力での除去を余儀なくされている。この現状を打破するために、計画的な河川の浚渫等が出来ないか。</p> <p>③ 河川の砂利堆積により増水して、国道388号の道路路側帯や河川への取付道等の崩壊、陥没が発生し、バリケードがそのままになっている所あるが、復旧は出来ないか。</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>要</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
8番 川村 嘉彦 議員	1. 上区及び下区の町道復旧工事の見通しについて 上区の島戸野々尾間（町道山瀬橋・長崎線）、下区の中尾（町道小八重・中尾線）の復旧工事着工の見通しはいつ頃か。	要	町長
3番 田原 謙二 議員	<p>1. 高齢者対策について</p> <p>町では少子高齢化による人口減少が続く中、存続の危ぶまれる地区もある。高齢者比率は約55%と県下で最も高く、小集落単位で見ると70%を超える地区もある。</p> <p>高齢者が安心して暮らせる町、高齢者に優しい町づくりの実現のために、先ずはこの状況をどう受け止められておられるのか。</p> <p>また、今後の対策について町長の考えを伺う。</p>	要	町長
5番 若杉 伸児 議員	<p>1. 過疎・少子化対策について</p> <p>① 本町は過疎・高齢化等により主幹産業である農林業は元より、様々な業種や事業所の後継者不足、自治会活動や文化伝統芸能継承等の地域活動の衰退、消防団や自主防災組織の弱体化が喫緊の課題となっている。また今後懸念される少子化により、事態に更なる拍車がかかると予測される。町長は独自に『Mターン』という理念を掲げていたと認識している、その概要を伺う。</p> <p>② 就任して間もないが『Mターン』を実践するにあたっての、現時点で具体的な取組みや新たな予算措置があれば伺う。</p> <p>2. 独自の予算・事業編成について</p> <p>① 町には200近い補助金があると聞いている。町長自身が廃止や規模縮小、逆に新設や規模拡大を判断する上での基本とする考えを伺う。</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>要</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の相手
	<p>② 以前に町全体で取組んだ「ちくせん」事業の様な、軸となる事業の構想があれば伺う。</p> <p>3. 南郷渡川地区における公園化事業について</p> <p>① 南郷上渡川簡易郵便局横にある町有地については、数年前より公園化の計画が上がっていたと認識している。しかし事業自体進展が無い、この間の経緯とその理由を伺う。</p> <p>② 今後の事業進展について見通しを伺う。</p> <p>③ 事業主体となる関係機関への、地元住民を中心とした要望活動の必要性・重要性について伺う。</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>要</p> <p>要</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
4番 遠山 秀樹 議員	<p>1. 「ちくせん」事業の進捗と今後の展開について</p> <p>① 今年度まで3ケ年の総事業費見込み(補助金額と町負担額及びコンサル業者に支払った金額)について伺う。(要資料)</p> <p>※・総事業費〇〇〇万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額〇〇〇万円 (〇〇%) ・町負担額〇〇〇万円 (〇〇%) <p>内、コンサル費用〇〇〇万円</p> <p>② 「ちくせん」事業はU I J ターンの基本になるものだと思うが、今年最終年度まで3年間で美郷町に移住した人数又は家族の数を伺う。(要資料)</p> <p>※・Uターン 〇〇世帯 〇〇人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Iターン 〇〇世帯 〇〇人 ・Jターン 〇〇世帯 〇〇人 <p>合計 〇〇世帯 〇〇人</p> <p>③ この事業には「就職の機会創出」や「住宅支援」など、多様なインセンティブがあると思うが、町ではどのような支援内容になっているか伺う。また、支援額についても伺う。</p> <p>(要資料：項目毎の実績額または見込額)</p> <p>④ 「地域おこし協力隊」も、この事業に入るのか伺う。</p> <p>※「はい、または、いいえ」で構わない。</p> <p>2. 町長の動機と「地域おこし協力隊」の位置づけについて町長が県庁を退職して美郷町に帰ってこられたが、その動機について伺う。</p> <p>① 県庁を退職してまで「地域おこし協力隊」として、美郷町を発展させるために奉職して、この事業を担当したかったから。</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>要</p> <p>不要</p> <p>不要</p>	<p>町長 (課長等)</p> <p>町長 (課長等)</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の相手
	<p>② 前町長の肝いりで、たまたまこの事業を美郷町が取り組むことになったので、県庁退職後、「地域おこし協力隊」に採用され、仕事として配属されたから。</p> <p>③ 今回の町長選挙に資するために、この事業を担当した。</p> <p>④ その他</p> <p>①か②か③か④での何れかでお答えください。</p> <p>3. これまでの「ちくせん」の事業内容と、今後の継続事業について</p> <p>① 南郷、西郷、北郷で実施された事業について、主なものを地区ごとに集約した内容を伺う。(要資料)</p> <p>② 今年度までの事業の中で、事業種にそぐわないものがあったように聞く。 例えば「水路清掃」とか事業種に入るのか。入るならば「ちくせん」としての戦略としてはどう考えれば良いのか。</p> <p>③ 事業種にそぐわない計画は、その地域に行政指導して適切な事業を進めたのか。 その中で却下されたものがあったのか。</p> <p>④ 「300万円なんにでも使えるから使わないともったいないですよ」と町長が担当の時に、和田地区との協議の中でおっしゃっていましたが、覚えているか。 ※「はい、または、いいえ」で構わない。</p> <p>⑤ 3ケ年の事業が終わった後に、各地域で独自に予算化をするのは難しいと思うが考えを伺う。 また、町単独予算で継続させるには、財源がないように思えるが町は実施する意向なのか。</p> <p>⑥ 「ちくせん」事業の継続事業が決まっていれば 要綱要領及び事業費を伺う。 (要資料)</p> <p>⑦ 3年間続けて事業を行ってきた地域は、同じ事業を行うことで継続して採択されるのか。それとも違う事業を構築しないとイケないのか。</p> <p>⑧ 最後に町長が推進するMターンの内容と推進策を伺う。 (要資料)</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>不要</p> <p>不要</p> <p>不要</p> <p>要</p> <p>不要</p> <p>要</p>	<p>町長 (課長等)</p> <p>町長 (課長等)</p> <p>町長 (課長等)</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長 (課長等)</p> <p>町長 (課長等)</p> <p>町長</p>

質問者	質問事項の要旨	答弁書	質問の相手
	<p>4. 町の人口の推移とその人口減対策について</p> <p>① 本年度末の町の見込み人口は何人になるか伺いたい。 65歳以上、それ以下（地元に住居の高校生以下も）の人数とパーセントを教えてください。（要資料）</p> <p>② 5年後には4,000人を切ると思われるが、その状況を町長はどう考えているか、またその対策をどのように進めたいのか伺いたい。</p> <p>③ 先ほど議論した事業等で移住人口が見込めると思うか。</p> <p>④ 今年2月4日（木）の宮日新聞に掲載された「25年人口移動報告・若い女性 地方流出目立つ」という記事はご覧になられたか。</p> <p>⑤ 上記の記事には、宮崎県では24年▲1,064人、25年▲3,024人と軒並み都市部への転出が目立っている。逆に転入が増えているのは東京、埼玉、千葉、神奈川、滋賀、大阪、福岡の大都市及びその圏域で144,690人が増加している。特に若い女性の移動が目立っているが、この全体的な状況を町長的にどう分析するかお聞かせ頂きたい。</p> <p>⑥ あるコンサルティング会社の社長は「女性の流出を防ぐには、働きたいと思える仕事の選択肢を増やすことが重要だ」、「地域に不可欠な医療や交通、教育にかかわる仕事も選択肢になるように働き方や、職場環境の見直しを進める必要がある」と強調されている。 女性に限らず、今現在の美郷町では何が足りなくて、今後どのような対策をすれば良いのか、町長のお考えを伺う。</p> <p>5. これまでの「ちくせん」事業の総括について これまで縷々（るる）答弁を伺ったが、本事業は3年間で約〇〇万円もの公費を投入して、移住者は〇〇人という結果です。 これは単純計算で、1人あたり約〇〇万円の公費を投入したことになります。 この事業が、人口減少対策として本当に効果的だったのか、町長ご自身は成功だったと認識されているのか、それとも課題の多い事業だったと認識されているのか、町長の率直な事業評価をお聞かせください。</p>	<p>要</p> <p>要</p> <p>不要</p> <p>不要</p> <p>要</p> <p>要</p> <p>要</p>	<p>町長 （課長等）</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の 相手
11 番 山本 文男 議員	<p>1. 地籍調査終了後の実測課税までの業務について 共有物件の戸籍抽出調査期間と納税義務者への周知期間を合わせて、現体制では業務終了まで11年を要するとの説明である。担当職員を増員し、最短で実測課税を開始し、合併以降の不平等課税を解消すべきと考えるが。</p>	要	町長
	<p>2. 選挙公約(買物支援、移動支援)について 食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている方々が増加している。又、行政の手続きや病院までの移動の為、自動車免許証自主返納をためらわれている高齢の方もおられる。公約の中の、高齢者等の買物支援、移動支援についての町長の考えは。</p>	要	町長
	<p>3. 生活水の確保について</p> <p>① 令和6年6月、同7年12月の定例会において、若杉議員から小規模水道、個人水道の将来的な維持管理についての質問があった。答弁は2回とも「状況把握に努めたい」というものだった。高齢化や集落戸数の減少により維持管理が困難となる水道施設に対する町長の考えは。</p> <p>② 令和6年、西郷下区より大久保地区の水道施設整備の請願があった。関係住民との説明会などを行っている様だが、整備に向けての方向性は定まってきたのか。</p> <p>③ 湧水により、現在、軽トラックで水を運んでいる集落がある。給水車を配備している近隣の自治体もあると聞くが、給水車を導入する考えは。</p>	要	町長